

4. 土地区画整理事業、市街地再開発事業、道路、公園、駐車場等の公共の用に供する施設の整備その他の市街地の整備改善のための事業に関する事項

**[ 1 ] 市街地の整備改善の必要性**

**( 1 ) 現状分析**

豊田市では、これまで当該地区を「都心」あるいは「中心市街地」として、市街地再開発事業、道路・駐車場整備事業などハード事業だけではなく、商業・業務機能や居住機能の誘導やフリーパーキング制度の導入などのソフト施策にも重点的に取り組んできた。その結果、中心市街地における生活・サービス利便性、鉄道や自動車によるアクセス性は向上し、中高層の共同住宅やビジネスホテルの建設など民間活力による土地利用の高度利用が徐々に進みつつあり、一定水準の市街地としての集積が見られるようになってきた。

しかし、他の中核市や同規模の都市の中心市街地を比較すれば、商業・業務・住宅・サービス機能の集積度はまだ低く、40万人都市の中心市街地としての密度やスケール感、多様性に乏しく、求心力が十分に発揮できる水準には達していないのが現状である。また、20年来進めてきた市街地整備ではあるが、社会経済環境や市民ニーズは変化してきおり、市街地の整備水準や内容等については改善する必要がある。

**( 2 ) 市街地の整備改善の必要性**

今後は、従来計画事業の見直し、景観やユニバーサルデザイン、環境との共生等の新たな視点を取り入れた市街地の公共空間としての再構築、民間活力の積極導入による業務等就業基盤の拡大などさらなる市街地整備の改善を進めていく必要がある。

**( 3 ) フォローアップの考え方**

基本計画の認定後、各年度において完了もしくは開始している事業について、進捗調査を実施し、状況に応じて事業の促進や新規事業の設定を講じる。また、計画期間満了時点において5年間の総括を実施し、中心市街地活性化の効果をはかるものとする。

**[ 2 ] 具体的事業の内容**

**( 1 ) 法に定める特別の措置に関連する事業**

該当なし

**( 2 ) ①認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した特例措置に関連する事業**

事業内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
------------	------	-------------------	---------------	--------

<p>○事業名 1. (都) 豊田則定線整備</p> <p>○事業内容 豊田則定線の整備 (L=305m、W=25m)</p> <p>○実施時期 平成16年度～平成24年度</p>	<p>豊田市</p>	<p>豊田則定線の道路整備を行い、竹生商店街と新豊田商店街を結ぶ歩行者空間を形成し、歩いて回遊できる中心市街地の一因とする。</p>	<p>○支援措置の内容 まちづくり交付金 実施時期 ○平成17年度～平成20年度</p> <p>社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業(豊田都心(センターコア)地区)) ○実施時期 平成21年度～平成22年度</p>
<p>○事業名 2. 竹生線</p> <p>○内容 竹生線の整備 (L=920m、W=16m)。電線類地中化(高質空間形成施設)の実施。</p> <p>○実施時期 平成20年度</p>	<p>豊田市</p>	<p>地元まちづくり協議会と共働による歩道部を含めたデザインの検討を行い、竹生線の道路整備を実施する。電線類の地中化、高質空間整備と併せた道路整備を行うことにより、景観に優れユニバーサルデザインを取り入れた歩行者空間となつて、回遊性向上につなげることができる。</p>	<p>○支援措置の内容 まちづくり交付金 ○実施時期 平成20年度</p>
<p>○事業名 3. 市道吹上天神線</p> <p>○内容 市道吹上天神線の整備(道路改良L=260m、W=17～18m)</p> <p>○実施時期 平成18年度～平成20年度</p>	<p>豊田市</p>	<p>市道吹上天神線の道路整備を行い、元城五番街と連携する歩行者空間を形成し、中心市街地の歩行回遊性向上につなげる。</p>	<p>○支援措置の内容 まちづくり交付金 ○実施時期 平成18年度～平成20年度</p>
<p>○事業名 4. 市道神明線</p> <p>○内容 市道神明線の整備 (L=170m、W=12m)</p>	<p>豊田市</p>	<p>市道神明線の道路整備を行い、一番街商店街と桜町本通り商店街を結ぶ歩行者空間を形成し、中心市街地の歩行回遊性向上につなげる。また、隣接する豊田市駅前通り南地区市街</p>	<p>○支援措置の内容 まちづくり交付金 ○実施時期 平成20年</p>

○実施時期 平成 20 年度		地再開発事業と連携し、景観を向上させる。	度	
○事業名 <b>5. 市道中町線</b> ○内容 市道中町線の整備 (L=10m、W=12m) ○実施時期 平成 19 年度～平成 20 年度	豊田市	竹生線と中町線の交差点部において、一部幅員が狭小となっており、通行に支障をきたしているため、道路整備を行い、中心市街地の歩行回遊性向上につなげる。	○支援措置の内容 まちづくり交付金 ○実施時期 平成 19 年度～平成 20 年度	
○事業名 <b>6. 高質環境道路整備 (高質空間形成施設)</b> ○内容 歩行者空間の整備 ○実施時期 平成 16 年度～平成 20 年度	豊田市	1. 竹生線 ほか 1 路線 竹生線から、新築された山車蔵、区民会館を経て、児ノ口公園にアクセスする市道の整備を行う。地元まちづくり協議会において検討しており、竹生線のバリアフリー化と共に周辺景観に配慮した舗装が協議会から提案され、歩行回遊性の向上が期待される。 2. 旧城線 舗装材が、樹木の根に持ち上げられ、歩行に支障となっており、危険な状態となっているため、「13. 桜城址公園再整備事業」とあわせリニューアル整備を行う。	○支援措置の内容 まちづくり交付金 ○実施時期 平成 16 年度～平成 20 年度	
○事業名 <b>7. まちづくり活動支援事業</b> ○内容 ワークショップの開催事業 ○実施時期 平成 16 年度～	豊田市	市民との共働によるまちづくり事業を推進するため、新たな協議会の立ち上げを支援する事業であり、1 期(H17～H20)では、竹生線や旧城線整備の合意形成を図った。2 期(H21～H25)では、西桜町・昭和町線沿線地区等において、ワークショップの開催等により事業の合意形成を図る。	○支援措置の内容 まちづくり交付金 ○実施時期 平成 16 年度～平成 20 年度  社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業) ○実施時期 平成 21 年度～平成 25 年度	
○事業名 <b>8. まちづくり事業活</b>	豊田市	都市再生の推進をより一層図るため、各種事業を調査・研	○支援措置の内容	

<p><b>用調査</b> ○内容 まちづくりの調査・研究事業 ○実施時期 平成21年度～</p>		<p>究する事業であり、中心市街地の交通計画、駅前広場整備事業、緑化推進事業等、都市再生の推進を図る為の各種事業を調査・研究する。また、交通拠点機能と賑わい機能をステップアップさせる為の有効な段階的整備方策の検討等を図る。</p>	<p>社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業） ○実施時期 平成21年度～平成25年度</p>	
<p>○事業名 <b>9. 冬の魅力創出事業</b> ○内容 中心市街地のイルミネーションによる装飾及びにぎわいづくりのためのイベントを実施。 ○実施時期 平成16年度～</p>	<p>イルミネーションストーリー実行委員会</p>	<p>冬の風物詩として、イルミネーション装飾による快適な都市空間を創出することを目的とする事業であり、1期（H17～H20）では、イルミネーション装飾による魅力向上を図った。2期（H21～H25）では、地域住民や商店街等によるにぎわいづくりのためのイベント、商業活性化事業等の実施に主眼を置き、中心市街地の活性化を図る。</p> 	<p>○支援措置の内容 まちづくり交付金 ○実施時期 平成16年度～平成20年度  ○社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業） ○実施時期 平成21年度～平成25年度</p>	
<p>○事業名 <b>10. サイン施設整備</b> ○内容 誘導サインの設置（設置箇所は57箇所） ○実施時期 平成19年度～平成20年度</p>	<p>豊田市</p>	<p>高齢者、障がい者、外国人を含む誰もが快適に活動できる都市空間を構築するため、ユニバーサルデザインを踏まえた最新施設を整備し、回遊性を高めることができる。</p> 	<p>○支援措置の内容 まちづくり交付金 ○実施時期 平成19年度～平成20年度</p>	
<p>○事業名 <b>11. 桜城址公園再整備事業</b> ○内容 修景施設・園路広場・照明設備・休養遊戯施設工等による街区公園の再整備を</p>	<p>豊田市</p>	<p>樹木や植栽、石垣等の修景、園路や休憩施設、照明設備等の再整備を行うことによって、歴史を忍ばせる美しく良好な景観形成とにぎわいを創出することができる。</p>	<p>○支援措置の内容 まちづくり交付金 ○実施時期 平成20年度</p>	

<p>実施する。</p> <p>○面積 1,800 m<sup>2</sup></p> <p>○実施時期 平成19年度～平成20年度</p>				
<p>○事業名 <b>12. 安永川環境整備（安永川流域河川環境整備事業）</b></p> <p>○内容 安永川の河川環境整備事業（L=80m）</p> <p>○実施時期 平成17年度～</p>	豊田市	<p>河川治水整備を実施し治水機能の向上を図るとともに、浄化用水を利活用した魅力ある水辺環境空間の創出、管理用道路を活用した散策路の整備を行うことによって、美しく潤いある良好な景観形成や中心市街地の回遊性向上につなげることができる。</p>	<p>○支援措置の内容 まちづくり交付金</p> <p>○実施時期 平成17年度～平成20年度</p>	
<p>○事業名 <b>13. 花のあるまちづくり事業</b></p> <p>○内容 中心市街地のペDESTリアンデッキや広場、幹線道路において、フラワーポール、花壇、ハンギングバスケット、プランターを設置し、花飾りを行う事業</p> <p>○実施時期 平成16年度～</p>	豊田市	<p>鉄道駅や公共施設等に花飾りを設置し、「もてなしの空間」の創出を行うことにより、来街者が安らぎと潤いを感じることができる。</p>	<p>○支援措置の内容 まちづくり交付金</p> <p>○実施時期 平成16年度～平成20年度</p>	
<p>○事業名 <b>14. (仮) 豊田市駅前通り北地区市街地整備事業</b></p> <p>○内容 豊田市駅前の都市基盤整備及び良質な都市空間形成（再開発事業）</p> <p>○地区面積 約1.5ha</p> <p>○実施場所 豊田市喜多町地内</p> <p>○実施時期 平成21年度～平成28年度</p>	<p>(仮) 豊田市駅前通り北地区市街地再開発組合 豊田市</p>	<p>都市計画道路豊田市停車場線、市駅前広場を始めとした都市基盤整備及び中心市街地等の活性化を一体的に推進する必要性が高い地区であり、スタジアムアベニューを形成し、活性化に寄与する面整備として必要な事業である。</p> <p>当事業は、公共施設や商業施設の整備が行われ、さらなる都市機能の集積が図られることで都市の魅力を上昇させることができる。</p>	<p>○支援措置の内容 社会資本整備総合交付金（市街地再開発事業等）</p> <p>○実施時期 平成22年度～平成24年度</p>	
<p>○事業名 <b>21. 産業文化センタ</b></p>	豊田市	<p>施設利用者の利便性向上を図るため慢性的な駐車場不足</p>	<p>○支援措置の内容</p>	

<p><b>一 駐車場整備事業</b></p> <p>○内容 中心市街地に立地する豊田産業文化センター敷地内に立体駐車場を整備する。 (300台程度、A=8,050㎡)</p> <p>○実施時期 平成21年度～平成22年度</p>		<p>を解消し、フリーパーキングとして中心市街地の活性化に資する立体駐車場を整備する。</p>	<p>社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)</p> <p>○実施時期 平成21年度～平成22年度</p>	
<p>○事業名 <b>25. 無電柱化事業</b></p> <p>○内容 電線類、電柱の地中化事業 (①市道蔵前陣中線：L=305m、W=16m ②(都)豊田則定線：L=220m、W=25m)</p> <p>○実施時期 ①平成23年度～平成25年度 ②平成21年度～平成24年度</p>	<p>豊田市</p>	<p>都市の防災機能の強化及び、都市景観の向上を図り、安全で快適なまちづくりを推進する。</p>	<p>○支援措置の内容 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業(豊田都心(センターコア)地区))</p> <p>○実施時期 ①平成24年度 ②平成21年度～平成22年度</p>	
<p>○事業名 <b>68. 豊田市駅周辺緑化推進事業</b></p> <p>○内容 中心市街地のペDESTリアンデッキや広場、幹線道路において、フラワーポール、花壇、ハンギングバスケット、プランターを設置し、花飾りを行う事業</p> <p>○実施時期 平成21年度～</p>	<p>豊田市</p>	<p>豊田市駅周辺地区を中心とした緑の環境都市軸形成の為、路地園芸の推進、街角ガーデン化、個性的な花を活かした地区景観創造など、市民参加のもと、個性ある緑化推進を図る。</p>	<p>○支援措置の内容 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)</p> <p>○実施時期 平成22年度～平成25年度</p>	
<p>○事業名 <b>71. 市道蔵前陣中線整備</b></p> <p>○内容 市道蔵前陣中線の整</p>	<p>豊田市</p>	<p>蔵前陣中線の道路整備を行い、昭和町商店街と喜多町昭和通り商店街を結ぶ歩行者空間を形成し、歩いて回遊できる中心市街地の一因とする。</p>	<p>○支援措置の内容： 社会資本整備総合交付金(都市再</p>	

備 (L=305m、W=16m) ○実施時期 平成23年度～平成25年度			生整備計画事業 (豊田都心 (センターコア) 地区)) ○実施時期：平成24年度	
--	--	--	---	--

(2) ②認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した重点的な支援措置に関する事業

該当なし

(3) 中心市街地の活性化に資するその他の支援措置に関する事業

該当なし

(4) 国の支援がないその他の事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	国以外の支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
○事業名 15 豊田シティセンターマネジメント (TCCM) の強化 ○内容 豊田市中心市街地活性化協議会の機能強化・拡充のため、基本計画に掲げる全ての事業を推進する各事業主体のコントロールを担う機関として設置する。 ○実施時期 平成20年度～	豊田市中心市街地活性化協議会	中心市街地活性化協議会の運営、タウンマネージャーによる計画事業の推進、コーディネートを行う機関を設置した。 民間活力を中心とした中心市街地活性化へ向けた効率的な事業推進のための機関として位置づけ、今後は、法人化や組合化等を含めた組織強化の検討を行う。	○支援措置の内容 豊田市中心企業団体等事業費補助金 ○実施時期 平成20年度～平成22年度	

<p>○事業名 <b>16. (仮) 西町地区都市再生事業【調査及び計画策定】</b></p> <p>○内容 豊田市駅前の西町地区の整備手法等の検討を行う。</p> <p>○実施時期 平成20年度～平成24年度</p>	<p>豊田市</p>	<p>豊田市駅周辺で進める、駅東口駅前広場や薬師1号線、国道155号、名鉄駅総合整備事業、西町地区再生整備、高架下利活用整備を合わせ、建物の更新や共同化による防災性の向上と土地の高度利用等、駅前に相応しいまちづくりを検討する。</p>		
<p>○事業名 <b>17. 生活・回遊空間整備</b></p> <p>○内容 中心市街地の路地整備事業(3路線:L=480m、A=3,220㎡)</p> <p>○実施時期 平成23年度</p>	<p>豊田市</p>	<p>中心市街地において、生活空間や回遊空間である幹線道路以外の路地などを対象に、バリアフリー、環境舗装、景観整備などを行う。中心市街地の歩行回遊性向上につなげる。</p>		
<p>○事業名 <b>18. 国道155号歩道整備検討事業</b></p> <p>○内容 国道155号の歩道整備手法について検討する。</p> <p>○実施時期 平成20年度～平成24年度</p>	<p>豊田市</p>	<p>国道155号線は、中心市街地を南北に貫く国道であり、モータリゼーションの進展にあわせた整備ができていなかった。そのため、回遊性を高める中心市街地を創出するために、国道155号について歩道整備を検討し安全と円滑を確保する。</p>		
<p>○事業名 <b>19. ウェルカムセンター機能整備事業</b></p> <p>○内容 中心市街地の窓口機能の整備</p> <p>○実施時期 平成22年度～平成23年度</p>	<p>豊田市 民間</p>	<p>外国人を含む来街者に観光、交通情報をはじめ滞在中の各種生活情報を提供する公共的窓口機能を官民共同で整備する事業である。</p> <p>来訪者へのもてなし機能を強化するための事業であり、中心市街地活性化に必要である。</p>		<p>【イメージ】</p>



<p>○事業名 <b>20. 歩行者・自転車道環境整備事業【調査及び計画策定】</b></p> <p>○内容 学校・事業所等と中心市街地を結ぶ都市計画道路をモデル路線として、自転車道・自転車レーンを中心として自転車走行ネットワークを構築するための整備手法の検討を行う。</p> <p>○実施時期 平成 20 年度～</p>	<p>豊田市</p>	<p>学校・事業所等と中心市街地を結ぶ都市計画道路をモデル路線として、自転車道・自転車レーンを中心として自転車走行空間ネットワークを構築する。また、あわせて通行ルールの周知徹底を図るため、学校等で啓発活動を行い、自転車・歩行者の通行の安全性を確保する。</p>		
<p>○事業名 <b>22. (仮) 名鉄豊田市駅総合整備事業</b></p> <p>○内容 名鉄豊田市駅について、耐震補強、1階商業フロアのテナントミックス等の実施</p> <p>○実施時期 平成 21 年度～</p>	<p>名古屋鉄道(株)</p>	<p>豊田市の玄関口である名鉄豊田市駅の耐震補強、バリアフリー化を推進するとともに、まちとの結節点として、回遊を生み出す整備を行う。</p> <p>また、1階商業フロアのテナントミックスを実施し、鉄道駅としての利便性を向上し、利用者の利便性・快適性を向上させることができる。</p>		<p>名鉄豊田市駅</p>
<p>○事業名 <b>23. 豊田市駅西口バス待合施設整備事業</b></p> <p>○内容 豊田市駅西口バスターミナルに待合施設（公共交通情報提供、待合所等）を整備する。</p> <p>○実施時期 平成 19 年度～平成 23 年度</p>	<p>豊田市</p>	<p>バスの利便性を向上させることにより、中心市街地への公共交通による来訪者が増加する。また、自動車移動によるCO2排出削減にもつながる。</p>		

<p>○事業名 24. 豊田市駅東口駅前広場整備事業【調査及び計画策定】</p> <p>○内容 交通結節点となる駅前広場整備事業</p> <p>○面積 A = 7,500 m<sup>2</sup></p> <p>○実施時期 平成 21 年度～平成 30 年度</p>	<p>豊田市</p>	<p>豊田市の玄関口となる駅前広場を整備し、交通結節点機能強化による移動円滑化、環境空間整備による緑化・景観の向上が可能となる。また、公共交通と自動車交通の整序による交通の安全を確保する。</p>  <p>名鉄豊田市駅前広場</p>		<p>今後、都市再生整備計画に記載</p>
<p>○事業名 26. 屋上・壁面緑化支援事業</p> <p>○内容 街なか居住エリアについて、都市緑化法に基づく「緑化地域」への指定の検討及び民有地の屋上・壁面緑化を支援する。</p> <p>○実施時期 平成 22 年度～</p>	<p>豊田市</p>	<p>緑被面積を増やすことで、中心市街地におけるヒートアイランド現象抑制など生活環境の向上を図るほか、まちの風格創出など良好な景観形成が期待できる。</p>		
<p>○事業名 27. ユニバーサルデザイン整備事業</p> <p>○内容 ユニバーサルデザイン整備</p> <p>○実施時期 平成 16 年度～平成 22 年度</p>	<p>豊田市</p>	<p>歩行者空間整備とあわせ、都市景観の向上を図る事業である。</p> <p>空間整備により回遊者の増加を狙う。</p>		<p>今後、都市再生整備計画に記載</p>

<p>○事業名 <b>28. フラワーロード事業</b></p> <p>○内容 豊田市停車場線(スタジアムアベニュー)を始め、豊田市駅周辺を含む主要幹線道路への花飾り(花壇、プランター)を実施する(3回/年植替え)。花苗、用土等原材料は市が負担し、植替え、日常管理は地元が行う。</p> <p>○実施時期 平成15年度～平成26年度</p>	<p>豊田市 民間</p>	<p>豊田市停車場線をはじめ、豊田市駅周辺を含む主要幹線道路への花飾りを実施し、潤いや街並みの景観の形成と来街者へのもてなしの空間の創出を図る。</p> <p>また、参加者にエコシールを配布することで、環境に対する意識を高めてもらうことが可能である。</p> 		
<p>○事業名 <b>29. 緑化推進事業</b></p> <p>○内容 公道等から鑑賞できる場所で、10名以上の市民団体が実施する花飾り活動に対する、助成支援。</p> <p>○実施時期 平成17年度～平成26年度</p>	<p>豊田市 民間</p>	<p>公道等から鑑賞できる場所での花飾り活動に対して支援することにより、環境に配慮した市民活動を活性化し、緑のネットワークを作る。また、来街者・居住者の憩いの空間を創出し、快適な環境を創出できる。</p>		
<p>○事業名 <b>30. 緑陰歩道リニューアル事業【調査及び計画策定】</b></p> <p>○内容 豊田市駅周辺で進める、駅前広場や名鉄豊田市駅総合整備、西町地区再生整備等と合わせ、緑陰歩道のリニューアルを検討する。 (L=180m、W=12m)</p> <p>○実施時期 平成21年度</p>	<p>豊田市</p>	<p>名鉄豊田市駅北の緑陰歩道はせせらぎのある歩道として位置づけられているが、隣接する国道155号や西町地区等の整備に合わせ、水と緑のネットワークを中心に歩行環境としてどうあるべきかを検討する必要がある。</p> <p>他の関連事業と総合的に検討することにより、憩いの場を含んだ歩行空間を創出でき商業施設や公共施設への回遊度を向上させることが可能である。</p> <p>なお、計画策定にあたっては、地元住民や商業者で組織するまちづくり協議会の中で検討を進める。</p>		
<p>○事業名 <b>69. 市道十塚八幡線</b></p> <p>○内容 市道十塚八幡線の整</p>	<p>豊田市</p>	<p>市体育館のリニューアルに伴い、周辺道路の整備を行うことで、快適な歩行者空間を確保し、にぎわいを創出を図る。</p>		

備（道路改良 L=280 m、W=16~17m 電 線共同溝 L=130m） ○実施時期 平成 18 年度～				
--	--	--	--	--